

<国産材は増やせないのか？>

日本の国土には多くの山があるので、輸入材が手に入らないのなら**国産材で代替できないのか？** こう思う方も多くいらっしゃると思います。

しかし、**現実には国産材は急に増やすのが難しいというのが現状**です。
木は伐り出せばすぐ家の木材として使える訳ではなく木を乾燥させる必要があります。木を乾燥させることで木が変形するのを防ぐことができますし、建材としても強度も高くなるからです。

木の乾燥の方法としては自然乾燥と人工乾燥がありますが主流は乾燥機を使って木を乾燥させる人工乾燥を使うケースが大半で生産的です。**人工乾燥の場合、乾燥機の中に入れて乾燥させますが、その生産量というのは決まっています。**



これまでの供給する量に合わせてしか乾燥機がなく、余剰に乾燥できる量はあまり無いのが原状です

このように、**木の供給、乾燥という2つの面で国産材を急に増やすのは難しく、価格の高騰と品薄に繋がっています。**

<ウッドショックは3回目! ?>

住宅や木材の関係者によると、今回の価格上昇を**“第3次ウッドショック”**と呼ぶそうです。

90年代初頭、世界的な天然林保護運動をきっかけとして木材需給のひっ迫が発生したのが第1次。第2次は06年にインドネシアの伐採制限が引き金となっています。

そして今回の第3次の主要因は、前述の通り**コロナ禍**です。

米中のみならず、中東などでも木材需要が旺盛になっていることから、**品質が厳しいうえに低価格な日本に輸出する魅力がなくなっている**とも。

筋交いなどに使う羽柄（はがら）材の1カ月のコンテナ数は昨年の3分の1以下になっているそうです。

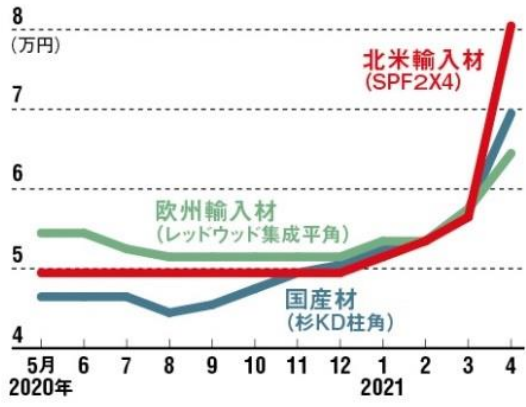
事態の長期化、価格の高騰が減少に転ずる要因が見当たらない原状ですが、**7月に入れば木材不足が一旦落ち着く見通し**もある様です。

しかし、**価格が高止まる原状は当分続くとの見解**が多数見られました。

事態の好転を早急に望める状況にはないものの、今こそ日本の林業を見直す良い転機になればと個人的には思います。

輸入、国産ともに上昇傾向にある

● 木材の価格推移



**ウッドショックにも対応できる
住宅メーカー、紹介できます!**

リフォームのご相談も増えてます

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます!

～土地・建物のよろず屋～

マルヒロ不動産(株)

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628



<https://maruhiro2103.co.jp>